

2023年度 入学者選抜 入試ガイド

- **保健科学部**
臨床検査学科
放射線技術学科
- **看護学部**
看護学科
- **薬学部**
薬学科

岐阜医療科学大学

GIFU UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

関キャンパス 〒501-3892 岐阜県関市市平賀字長峰795-1
TEL.0575-22-9401 FAX.0575-23-0884

■保健科学部 ■臨床検査学科 ■放射線技術学科
■大学院 ■保健医療学研究科

可児キャンパス 〒509-0293 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3
TEL.0574-65-6555 FAX.0574-65-7801

■看護学部 ■看護学科
■薬学部 ■薬学科
■助産学専攻科

☎0120-23-4186 (入試広報課直通)
公式ホームページ <https://www.u-gifu-ms.ac.jp/>



岐阜医療科学大学

GIFU UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

入試ガイド

CONTENTS

- 2023年度入学者選抜 募集人員／入学検定料 ……2
- 主体性等の評価について ……3
- 出題範囲 ……4
- 入試スケジュール ……5
- 受験プランの例 ……6
- 総合型選抜Ⅰ期(専願制) ……8
- 総合型選抜Ⅱ期(併願制) ……9
- 特別選抜(社会人・学士・帰国生徒) ……10
- 学校推薦型選抜(指定校制)(専願制) ……11
- 学校推薦型選抜(公募制)【面接重視型】(専願制) ……12
- 学校推薦型選抜(公募制)【小論文試験型】(併願制) ……13
- 一般選抜(前期A)全学部2科目選択型 ……14
- 一般選抜(前期A)薬学部化学必須型 ……15
- 一般選抜(前期B)全学部統一方式 ……16
- 一般選抜(後期A)全学部2科目選択型 ……17
- 一般選抜(後期B)薬学部1科目型 ……18
- 大学入学共通テスト利用選抜(前期)(中期)(後期) ……19
- 大学入学共通テストプラス選抜 ……20
- 2022年度入学生入試結果 ……22
- 入試についてのQ&A ……24
- 学費等納入金 ……26
- 奨学金制度 ……27
- 過去3年間の出願校一覧 ……28
- 岐阜医療科学大学データ ……29

関キャンパス		可児キャンパス	
保健科学部		看護学部	薬学部
「臨床検査技師」を目指す	「診療放射線技師」を目指す	「看護師・保健師*」を目指す	「薬剤師」を目指す
臨床検査学科	放射線技術学科	看護学科	薬学科
男女4年／90名	男女4年／90名	男女4年／100名 *選択制(20名)	男女6年／100名

大学院、助産学専攻科の入試については、別途入試広報課にお問い合わせください。

2023年度入学者選抜 募集人員

区 分			学部等	保健科学部		看護学部	薬学部
				臨床検査 学科	放射線技術 学科	看護学科	薬学科
学校推薦型 選抜	指定校制	専願制	45	45	50	45	
	公募制	【面接重視型】 専願制					
		【小論文試験型】 併願制					
総合型選抜	Ⅰ 期 専願制		20	20	20	20	
	Ⅱ 期 併願制						
特別選抜(社会人・学士・帰国生徒)			1	1	1	1	
一般選抜	前期A	全学部2科目選択型	14	14	19	24	
		薬学部化学必須型					
	前期B	全学部統一方式	2	2	2	2	
	後期A	全学部2科目選択型	3	3	3	2	
	後期B	薬学部1科目型				1	
大学入学 共通テスト	利 用 選 抜 (前 期)		5	5	5	5	
	利 用 選 抜 (中 期)						
	利 用 選 抜 (後 期)						
	プ ラ ス 選 抜						
定 員			90	90	100	100	

入学検定料

●個別に出願した場合

学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜、一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜 (前期・中期・後期)
30,000円	20,000円

●同一学科に同時に申し込んだ場合

学部	入試区分	検定料
保健科学部 看護学部	一般選抜(前期A)全学部2科目選択型 大学入学共通テスト利用選抜(前期) 大学入学共通テストプラス選抜 を同一学科に同時に申し込む	50,000円
薬学部	一般選抜(前期A)薬学部化学必須型 大学入学共通テスト利用選抜(前期) 大学入学共通テストプラス選抜 を同一学科に同時に申し込む	50,000円

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価について

下記の入学者選抜において、調査書により主体性等の評価を行います。

対象入学者選抜

- ① 総合型選抜Ⅰ期
- ② 総合型選抜Ⅱ期
- ③ 特別選抜
- ④ 学校推薦型選抜
- ⑤ 一般選抜(後期A)

評 価 方 法

調査書に記載されている学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科:理科、放射線技術学科:数学・理科、看護学科:国語、薬学科:化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

合否判定利用方法

対象となる入学者選抜において、書類評価の得点を加算して、合否の判定に利用します。

英語の外部検定の活用および英語4技能評価について

本学では、英語の外部検定を活用しません。

本学が実施する入学者選抜において、「英語」を課す選抜区分がありますが、英語4技能のうち、「話す」、「聞く」の評価に関する出題はありません。

出題範囲

該当試験区分	科 目	出 題 範 囲
総合型選抜Ⅰ期 総合型選抜Ⅱ期 特別選抜 学校推薦型選抜(公募制)	英語	コミュニケーション英語Ⅰ
	数学	数学Ⅰ、数学A
	国語	国語総合「古典(古文・漢文)を除く」
	物理基礎	全範囲
	化学基礎	全範囲
	生物基礎	全範囲
一般選抜(前期A) 一般選抜(前期B) 一般選抜(後期A) 一般選抜(後期B) 大学入学共通テストプラス選抜	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
	数学	数学Ⅰ、数学A(3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる)、数学Ⅱ
	国語	現代文A、現代文B
	物理	全範囲
	化学	高分子化合物の性質と利用を除く
	生物	生態と環境・生物の進化と系統を除く
	物理基礎	全範囲
	化学基礎	全範囲
	生物基礎	全範囲

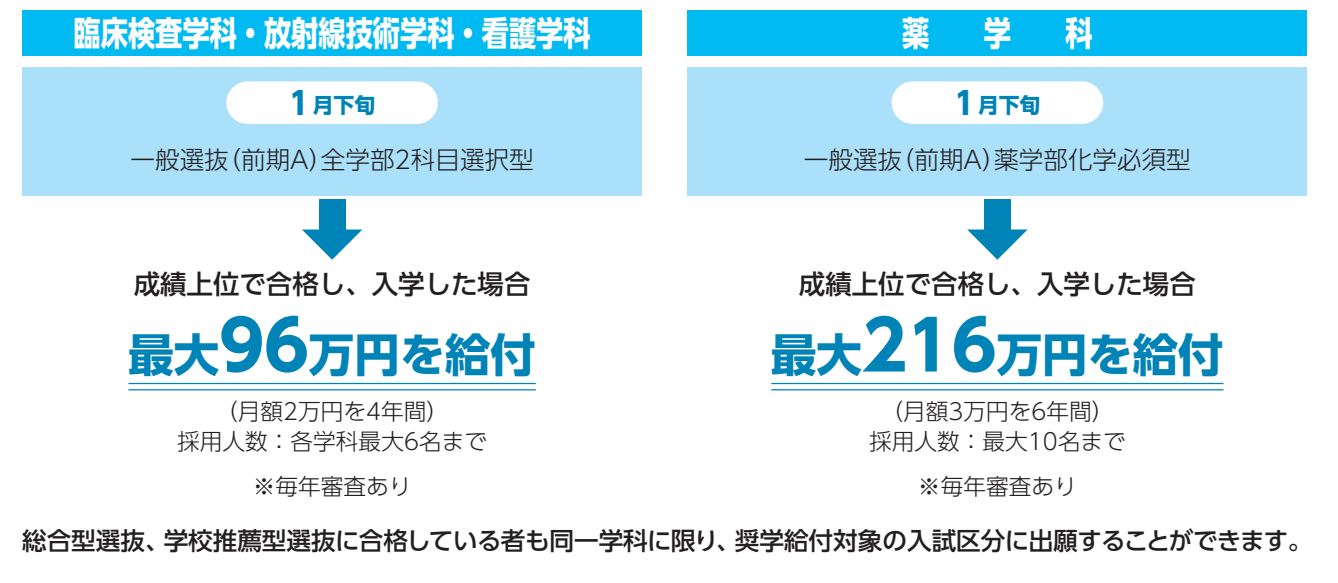
入試スケジュール

※詳細は学生募集要項で確認してください

10月	同日に試験を実施		
	総合型選抜Ⅰ期 (専願制)	特別選抜 (社会人・学士・ 帰国生徒)	
11月	書類評価のみ 学校推薦型選抜 (指定校制) (専願制)	学校推薦型選抜 (公募制) 【面接重視型】(専願制)	学校推薦型選抜 (公募制) 【小論文試験型】(併願制)
12月	試験を実施		
	総合型選抜Ⅱ期 (併願制)		
1月	下旬に試験を実施(同日に実施)		
	一般選抜(前期A) 全学部2科目選択型	一般選抜(前期A) 薬学部化学必須型	大学入学共通テスト プラス選抜
2月	上旬に試験を実施 一般選抜(前期B) 全学部統一方式	上旬に合格発表 大学入学共通テスト 利用選抜(前期)	
3月	上旬に試験を実施 一般選抜(後期A) 全学部2科目選択型	上旬に合格発表 大学入学共通テスト 利用選抜(中期)	
	中旬に試験を実施 一般選抜(後期B) 薬学部1科目型	下旬に合格発表 大学入学共通テスト 利用選抜(後期)	

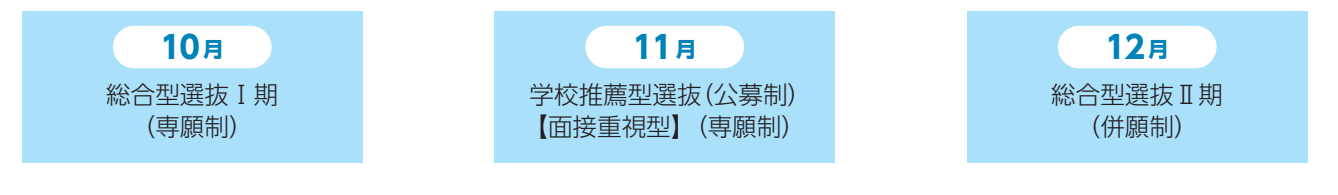
受験プランの例

奨学給付制度対象の入試に出願したい

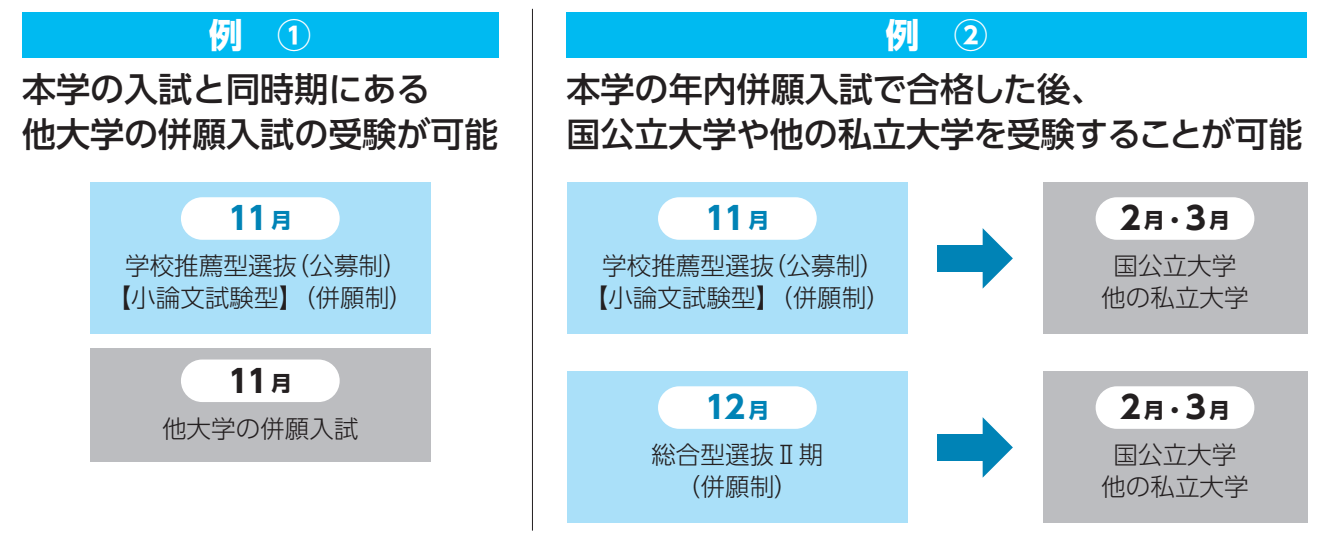


年内に合格したい

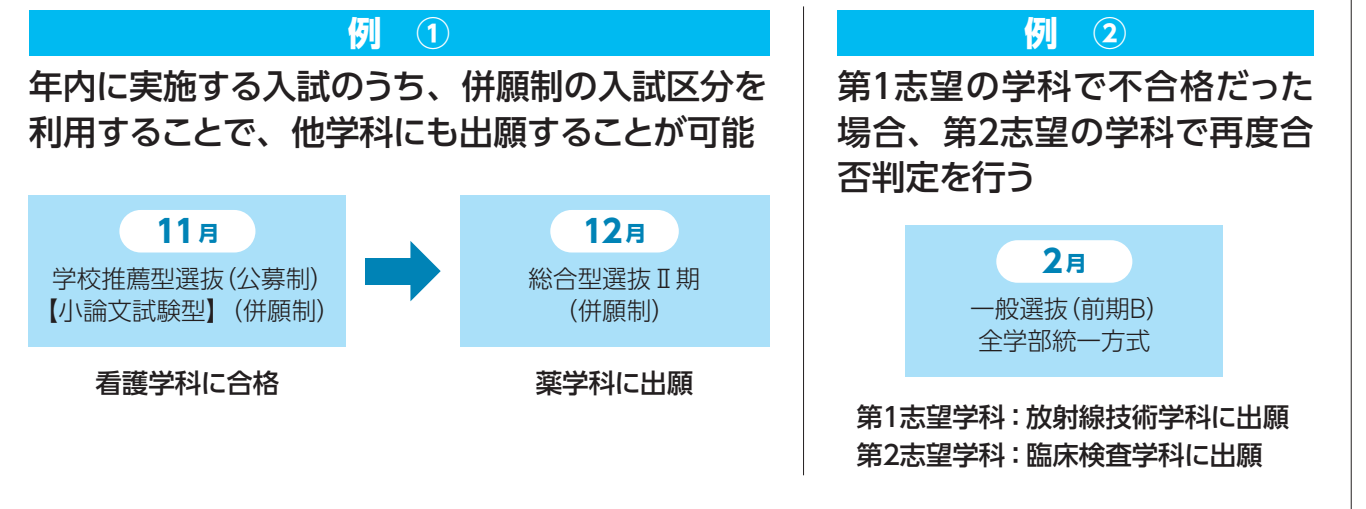
年内に3回の合格チャンス！合格発表を見てから出願可能



他大学と併願したい

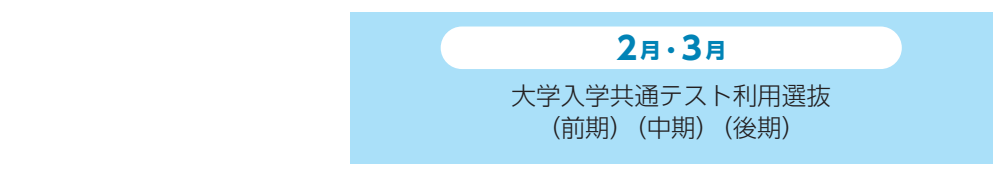


複数の学科を受験したい



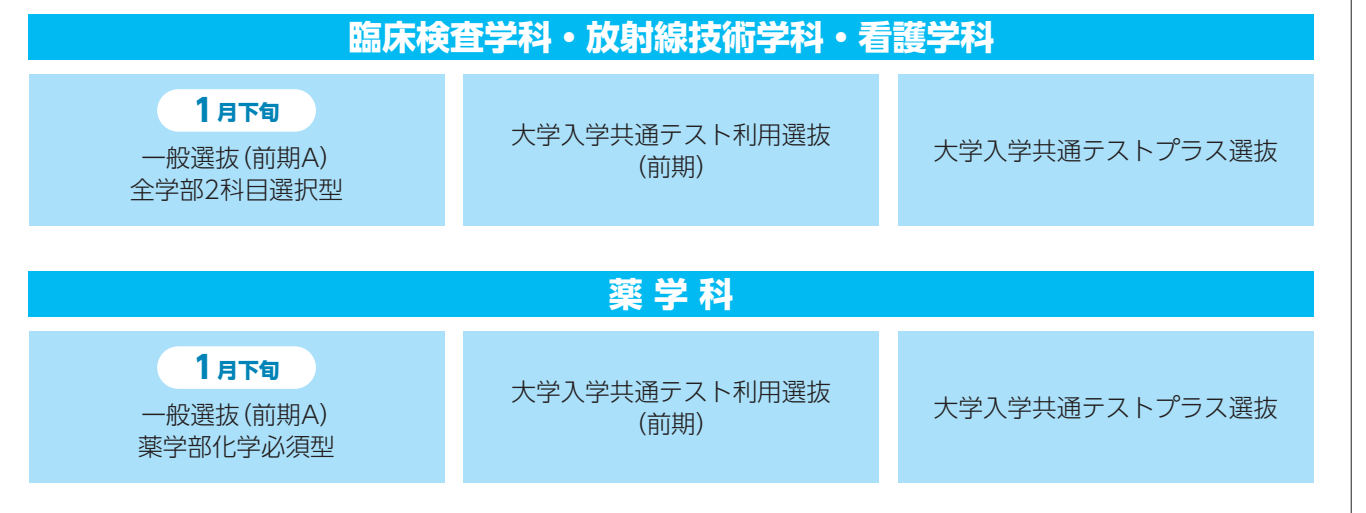
大学入学共通テストの結果を利用したい

大学入学共通テスト終了後でも、出願可能
個別試験がないため、出願するだけで合否判定される



合格チャンスを増やしたい

同一学科で3つの入試区分に同時に出願することで、合格チャンスが3回に増える



全学部対象

総合型選抜Ⅰ期 専願制

試験日

2022年10月 (詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価・小論文試験(基礎学力を問う問題含む)・面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

①高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者
②合格した場合、入学が確約できる者

配点

提出書類100点、小論文100点、面接100点 合計300点満点

試験地

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)
：本学(関キャンパス)、松本、浜松、名古屋
看護学部・薬学部：本学(可児キャンパス)、松本、浜松、名古屋

提出書類の評価

調査書、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

小論文試験
(基礎学力を問う問題)

【試験時間90分】 ※出題範囲は4ページを参照してください。

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科) 必須： 作文
選択： 英語 数学 物理基礎 化学基礎 生物基礎 から1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

看護学部 必須： 作文
選択： 英語 数学 国語 化学基礎 生物基礎 から1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

薬学部 必須： 作文
選択： 英語 数学 物理基礎 化学基礎 生物基礎 から1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

面接

小論文試験終了後、午後から面接を行う。複数の面接員で受験者1名～3名ずつ面接を行う。(全体の受験者数に応じて人数を決定する。)

奨学給付制度対象入試への出願

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

全学部対象

総合型選抜Ⅱ期 併願制

試験日

2022年12月 (詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価・小論文試験(基礎学力を問う問題含む)により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を2022年3月に卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

配点

提出書類50点、小論文150点、合計200点満点

試験地

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)
：本学(関キャンパス)、名古屋
看護学部・薬学部：本学(可児キャンパス)、名古屋

提出書類の評価

調査書、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

小論文試験
(基礎学力を問う問題)

【試験時間90分】 ※出題範囲は4ページを参照してください。

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科) 必須： 作文
選択： 英語 数学 物理基礎 化学基礎 生物基礎 から2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する

看護学部 必須： 作文
選択： 英語 数学 国語 化学基礎 生物基礎 から2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する

薬学部 必須： 化学基礎 作文
選択： 英語 数学 物理基礎 生物基礎 から1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

奨学給付制度対象入試への出願

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

その他

合格者は、本学が実施する入学前教育(スクーリング)に参加すること
自己アピール記入票は、本学のアドミッションポリシーをふまえて記載すること

全学部対象

特別選抜(社会人・学士・帰国生徒)

試験日 2022年10月(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価・小論文試験(基礎学力を問う問題含む)・面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

社会人 ●出願資格を有し、2023年4月1日において社会人経験が3年以上ある者

学士 ●学士の学位を取得した者、または2023年3月取得見込みの者

短期大学士 ●短期大学士(準学士を含む)の学位(準学士については称号)を取得した者、または2023年3月取得見込みの者

帰国生徒 ●学校教育の12年の課程を外国の学校に最終学年を含み2年以上在学し修了した者、または2023年3月31日までに修了見込みの者。ただし、出願時にすでに12年の課程を修了しているものは、修了した後1年半以内であること

配点 提出書類100点、小論文100点、面接100点 合計300点満点

試験地 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)：本学(関キャンパス)
看護学部・薬学部：本学(可児キャンパス)

提出書類の評価

調査書(またはその代替となる書類)、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

小論文試験 (基礎学力を問う問題)

【試験時間90分】 ※出題範囲は4ページを参照してください。

保健科学部 必須： **作文**
(臨床検査学科・放射線技術学科) 選択： **英語** **数学** **物理基礎** **化学基礎** **生物基礎** から当日2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する

看護学部 必須： **作文**
選択： **英語** **数学** **国語** **化学基礎** **生物基礎** から当日2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する

薬学部 必須： **化学基礎** **作文**
選択： **英語** **数学** **物理基礎** **生物基礎** から当日1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

面接 小論文試験終了後、午後から面接を行う。複数の面接員で受験者1名～3名ずつ面接を行う。(全体の受験者数に応じて人数を決定する。)

全学部対象

学校推薦型選抜(指定校制) 専願制

試験日 2022年11月(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

①～④を全て満たすこと

① 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を2023年3月卒業見込みの者

② 本学が示した推薦基準に該当する者

③ 出身学校長に推薦された者

④ 合格した場合、入学が確約できる者

配点 提出書類100点

提出書類の評価

調査書、推薦書、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

奨学給付制度対象入試への出願

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

その他 合格者は、本学が実施する入学前教育(スクーリング)に参加すること
自己アピール記入票は、本学のアドミッションポリシーをふまえて記載すること



注意事項 学校推薦型選抜(指定校制)の対象指定校は公表していません。
所属の高校の進路指導の先生、担任の先生などにお問い合わせください。

全学部対象

学校推薦型選抜(公募制)【面接重視型】専願制

試験日 2022年11月 (詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価・小論文試験(基礎学力を問う問題含む)・面接により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。面接を重視して適性・能力等を判断し選抜する。

出願要件

- ①～④を全て満たすこと
- ① 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を2022年3月に卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者
- ② 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者
- ③ 出身学校長に推薦された者
- ④ 合格した場合、入学が確約できる者

配点

提出書類50点、小論文100点、面接150点 合計300点満点

試験地

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)
：本学(関キャンパス)、松本、浜松、名古屋
看護学部・薬学部：本学(可児キャンパス)、松本、浜松、名古屋

提出書類の評価

調査書、推薦書、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

小論文試験 (基礎学力を問う問題)

【試験時間90分】 ※出題範囲は4ページを参照してください。
保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科) 必須： **作文**
選択： **英語** **数学** **物理基礎** **化学基礎** **生物基礎** から当日1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する
看護学部 必須： **作文**
選択： **英語** **数学** **国語** **化学基礎** **生物基礎** から当日1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する
薬学部 必須： **化学基礎** **作文**

面接

小論文試験終了後、午後から面接を行う。複数の面接員で受験者1名～3名ずつ面接を行う。(全体の受験者数に応じて人数を決定する。)

奨学給付制度対象入試への出願

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

全学部対象

学校推薦型選抜(公募制)【小論文試験型】併願制

試験日 2022年11月 (詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

提出書類の評価・小論文試験(基礎学力を問う問題含む)により総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

- ①～③を全て満たすこと
- ① 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を2022年3月に卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者
- ② 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者
- ③ 出身学校長に推薦された者

配点

提出書類50点、小論文150点、合計200点満点

試験地

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)
：本学(関キャンパス)、松本、浜松、名古屋
看護学部・薬学部：本学(可児キャンパス)、松本、浜松、名古屋

提出書類の評価

調査書、推薦書、自己アピール記入票により総合的に評価する。
調査書は学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化する。

小論文試験 (基礎学力を問う問題)

【試験時間90分】 ※出題範囲は4ページを参照してください。
保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科) 必須： **作文**
選択： **英語** **数学** **物理基礎** **化学基礎** **生物基礎** から当日2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する
看護学部 必須： **作文**
選択： **英語** **数学** **国語** **化学基礎** **生物基礎** から当日2科目選択
※選択科目から3科目以上解答した場合は、高得点2科目を判定に利用する
薬学部 必須： **化学基礎** **作文**
選択： **英語** **数学** **物理基礎** **生物基礎** から当日1科目選択
※選択科目から2科目以上解答した場合は、高得点1科目を判定に利用する

奨学給付制度対象入試への出願

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

その他

合格者は、本学が実施する入学前教育(スクーリング)に参加すること
自己アピール記入票は、本学のアドミッションポリシーをふまえて記載すること

全学部対象

一般選抜(前期A)全学部2科目選択型

試験日 2023年1月下旬(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

学力試験および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

試験地 本学(関キャンパス)、本学(可児キャンパス)、
東京、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、大阪、福岡、那覇

試験科目・配点・試験時間 試験時間は120分。※出題範囲は4ページを参照してください。
内を1科目とする。※科目は出願時に選択する

学 部	必須/選択	科 目	試験科目 配点	主体性 評価	満 点
保健科学部 (臨床検査学科・ 放射線技術学科)	選択	下記から2科目選択 英語 数学 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	1科目 100点 ×2	点数化 しない	200点
看護学部	選択	下記から2科目選択 英語 数学 国語 化学基礎 生物基礎	1科目 100点 ×2	点数化 しない	200点
薬 学 部	選択	下記から2科目選択 英語 数学 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	1科目 100点 ×2	点数化 しない	200点

保健科学部・看護学部奨学生制度について

成績が特に優れていると認められる者へ、月額2万円を4年間(最大96万円)給付する。
採用人数 各学科最大6名

そ の 他 合格者のうち奨学生として採用する者には、「奨学生採用通知書」を合格通知書と併せて郵送する。

薬学部対象

一般選抜(前期A)薬学部化学必須型

試験日 2023年1月下旬(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 薬学部

選抜方法

学力試験および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

試験地 本学(関キャンパス)、本学(可児キャンパス)、
東京、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、大阪、福岡、那覇

試験科目・配点・試験時間 試験時間は120分。※出題範囲は4ページを参照してください。
内を1科目とする。※科目は出願時に選択する

学 部	必須/選択	科 目	試験科目 配点	主体性 評価	満 点
薬 学 部	必須	化学	200点	点数化 しない	300点
	選択	下記から1科目選択 英語 数学 物理 生物	100点		

薬学部奨学生制度について

成績が特に優れていると認められる者へ、月額3万円を6年間(最大216万円)給付する。
採用人数 最大10名

そ の 他 合格者のうち奨学生として採用する者には、「奨学生採用通知書」を合格通知書と併せて郵送する。

全学部対象

一般選抜(前期B)全学部統一方式

試験日 2023年2月上旬(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

学力試験および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。
1. この入学者選抜では第1志望の学科に加え、第2志望の学科を登録できる。
2. 第1志望の学科が不合格だった場合、第2志望の学科で再度合否判定を行う。

出願要件 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

試験地 本学(関キャンパス)、本学(可児キャンパス)、東京、名古屋、大阪、福岡

試験科目・配点・試験時間 試験時間は120分。※出題範囲は4ページを参照してください。
内を1科目とする。※科目は出願時に選択する

学 部	必須/選択	科 目	試験科目 配点	主体性 評価	満 点
全 学 部	選択	下記から2科目選択 数学 国語 化学 生物	1科目 100点 ×2	点数化 しない	200点

全学部対象

一般選抜(後期A)全学部2科目選択型

試験日 2023年3月上旬(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

学力試験および提出書類により、適性・能力等を判定し選抜する。
調査書により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する。

出願要件 高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

試験地 本学(関キャンパス)、本学(可児キャンパス)、
東京、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、大阪、福岡、那覇

試験科目・配点・試験時間 試験時間は120分。※出題範囲は4ページを参照してください。
内を1科目とする。※科目は出願時に選択する

学 部	必須/選択	科 目	試験科目 配点	主体性 評価	満 点
保健科学部 (臨床検査学科・ 放射線技術学科)	選択	下記から2科目選択 英語 数学 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	1科目 100点 ×2	10点	210点
看護学部	選択	下記から2科目選択 英語 数学 国語 化学基礎 生物基礎	1科目 100点 ×2	10点	210点
薬学部	選択	下記から2科目選択 英語 数学 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	1科目 100点 ×2	10点	210点

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価について

詳細は3ページにてご確認ください。

薬学部対象

一般選抜(後期B)薬学部1科目型

試験日

2023年3月中旬(詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部

薬学部

選抜方法

学力試験および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者

試験地

本学(可児キャンパス)、東京、名古屋、大阪、福岡

試験科目・配点・試験時間

試験時間は60分。※出題範囲は4ページを参照してください。
内を1科目とする。

学 部	必須/選択	科 目	試験科目 配点	主体性 評価	満 点
薬 学 部	必須	化学	100点	点数化 しない	100点

全学部対象

大学入学共通テスト利用選抜(前期)(中期)(後期)

試験日

個別試験は課さない

対象学部

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法

大学入学共通テストの結果および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件

高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者で、
本学の指定する大学入学共通テストの科目を受験、または受験予定の者

試験科目・換算点

内を1科目とする。

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・薬学部 300点満点

必須/選択	教 科	試 験 科 目	大学入学共通 テスト配点	本学換算点
選 択		以下の8科目から高得点3科目を判定に利用		
	外国語	英語(リスニング含む)	200点	各100点
	数 学	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B	100点	
	理 科	物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点	

※必ず3科目以上受験していること。4科目以上受験した場合は、高得点の科目から判定に利用する。
※大学入学共通テストの「英語(リスニング含む)」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しない。

看護学部 300点満点

必須/選択	教 科	試 験 科 目	大学入学共通 テスト配点	本学換算点
選 択		以下の9科目から高得点3科目を判定に利用		
	外国語	英語(リスニング含む)	200点	各100点
	数 学	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B	100点	
	国 語	国語(近代以降の文章)	100点	
	理 科	物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点	

※必ず3科目以上受験していること。4科目以上受験した場合は、高得点の科目から判定に利用する。
※大学入学共通テストの「英語(リスニング含む)」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しない。

全学部対象

大学入学共通テストプラス選抜

試験日 2023年1月下旬 (詳細は学生募集要項で確認してください)

対象学部 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部・薬学部

選抜方法 (保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部)

一般選抜(前期A)全学部2科目選択型で受験した2科目のうち、高得点1科目の成績と、大学入学共通テストで受験した本学が指定する科目のうち、高得点2科目の成績(換算点)の合計点および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

選抜方法 (薬学部)

一般選抜(前期A)薬学部化学必須型で受験した化学の成績と、大学入学共通テストで受験した本学が指定する科目のうち、高得点2科目の成績(換算点)の合計点および提出書類により、総合的に適性・能力等を判定し選抜する。

出願要件 保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部：
一般選抜(前期A)全学部2科目選択型、大学入学共通テスト利用選抜(前期)、本試験区分を同一学科で同時に出願すること
薬学部：一般選抜(前期A)薬学部化学必須型、大学入学共通テスト利用選抜(前期)、本試験区分を同一学科で同時に出願すること

試験科目・換算点 内を1科目とする。※出題範囲は4ページを参照してください。

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科) 300点満点

区 分	試 験 科 目	配 点
一般選抜(前期A)全学部2科目選択型の成績	以下の6科目から受験した2科目のうち、高得点1科目を判定に利用 英語 数学 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点
大学入学共通テストの成績	以下の8科目から受験した科目のうち、高得点2科目を判定に利用 英語(リスニング含む) 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点×2

※大学入学共通テストプラス選抜のみの出願はできない。
※大学入学共通テストの「英語(リスニング含む)」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しない。

看護学部 300点満点


区 分	試 験 科 目	配 点
一般選抜(前期A)全学部2科目選択型の成績	以下の5科目から受験した2科目のうち、高得点1科目を判定に利用 英語 数学 国語 化学基礎 生物基礎	100点
大学入学共通テストの成績	以下の9科目から受験した科目のうち、高得点2科目を判定に利用 英語(リスニング含む) 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 国語(近代以降の文章) 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点×2

※大学入学共通テストプラス選抜のみの出願はできない。
※大学入学共通テストの「英語(リスニング含む)」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しない。

薬学部 300点満点

区 分	試 験 科 目	配 点
一般選抜(前期A)薬学部化学必須型の成績	化学	100点
大学入学共通テストの成績	以下の8科目から受験した科目のうち、高得点2科目を判定に利用 英語(リスニング含む) 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択 物理 化学 生物	100点×2

※大学入学共通テストプラス選抜のみの出願はできない。
※一般選抜(前期A)薬学部化学必須型の「化学」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの「英語(リスニング含む)」は200点満点を100点満点に換算する。
※大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しない。

 **注意事項** 一般選抜(前期B)全学部統一方式の成績は利用できない。

2022年度入学生入試結果

●保健科学部

学科	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数※2	入学者数	倍率※3
臨床検査学科	学校推薦型選抜指定校制「専願制」	12	12	12	11※4	1.00
	学校推薦型選抜公募制「専願制」	3	3	3	3	1.00
	学校推薦型選抜公募制「併願制」	19	19	19	11	1.00
	総合型選抜Ⅰ期「専願制」	21	21	21	21	1.00
	総合型選抜Ⅱ期「併願制」	6	6	5	4	1.20
	大学入学共通テストプラス選抜	54	52	47	1	1.11
	一般選抜前期A 全学部2科目選択型※1	136	134	115	36	1.17
	大学入学共通テスト利用選抜(前期)	89	89	67	2	1.33
	大学入学共通テスト利用選抜(中期)	6	6	6	0	1.00
	一般選抜後期A 全学部2科目選択型	12	9	7	5	1.29
	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	3	3	3	0	1.00
	特別選抜(社会人・学士・帰国生徒)	0	0	0	0	—
	計	361	354	305	94	1.16
放射線技術学科	学校推薦型選抜指定校制「専願制」	20	20	20	20	1.00
	学校推薦型選抜公募制「専願制」	31	31	8	8	3.88
	学校推薦型選抜公募制「併願制」	40	40	8	4	5.00
	総合型選抜Ⅰ期「専願制」	39	39	15	15	2.60
	総合型選抜Ⅱ期「併願制」	25	25	7	5	3.57
	大学入学共通テストプラス選抜	90	88	37	2	2.38
	一般選抜前期A 全学部2科目選択型※1	228	225	86	30	2.62
	大学入学共通テスト利用選抜(前期)	152	152	54	7	2.81
	大学入学共通テスト利用選抜(中期)	18	18	9	3	2.00
	一般選抜後期A 全学部2科目選択型	40	37	14	11	2.64
	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	7	7	4	0	1.75
	特別選抜(社会人・学士・帰国生徒)	0	0	0	0	—
	計	690	682	262	105	2.60

●看護学部

学科	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数※2	入学者数	倍率※3
看護学科	学校推薦型選抜指定校制「専願制」	28	28	28	26※4	1.00
	学校推薦型選抜公募制「専願制」	18	18	10	10	1.80
	総合型選抜Ⅰ期「専願制」	34	32	15	15	2.13
	大学入学共通テストプラス選抜	78	78	62	7	1.26
	一般選抜前期A 全学部2科目選択型※1	171	168	109	41	1.54
	大学入学共通テスト利用選抜(前期)	97	97	48	2	2.02
	大学入学共通テスト利用選抜(中期)	4	4	2	0	2.00
	一般選抜後期A 全学部2科目選択型	16	14	12	7	1.17
	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	5	5	4	0	1.25
	特別選抜(学士)	1	1	1	1	1.00
	計	452	445	291	109	1.53

●薬学部

学科	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数※2	入学者数	倍率※3
薬学科	学校推薦型選抜指定校制「専願制」	8	8	8	7※4	1.00
	学校推薦型選抜公募制「専願制」	3	3	2	1※4	1.50
	学校推薦型選抜公募制「併願制」	14	14	14	6	1.00
	総合型選抜Ⅰ期「専願制」	10	10	8	7※4	1.25
	総合型選抜Ⅱ期「併願制」	11	11	10	6	1.10
	大学入学共通テストプラス選抜	49	48	21	0	2.29
	一般選抜前期A 薬学部化学必須型※1	116	116	97	34	1.20
	一般選抜前期A 全学部2科目選択型	29	27	22	10	1.23
	一般選抜前期B 薬学部2科目必須型	31	31	21	2	1.48
	大学入学共通テスト利用選抜(前期)	79	79	61	4	1.30
	大学入学共通テスト利用選抜(中期)	8	8	5	1	1.60
	一般選抜後期A 全学部2科目選択型	7	7	5	2	1.40
	一般選抜後期B 薬学部1科目型	10	9	5	4	1.80
	大学入学共通テスト利用選抜(後期)	1	1	1	0	1.00
	特別選抜(社会人・学士・帰国生徒)	0	0	0	0	—
	計	376	372	280	84	1.33

※1 保健科学部・看護学部 奨学特待生は各学科6名 薬学部 奨学生は10名
※2 合格者数には繰上合格者を含みます。
※3 倍率は受験者数/合格者数
※4 学校推薦型選抜、総合型選抜の「専願制」の区分で合格した者が、一般選抜前期Aにおいて合格し奨学生となった場合、一般選抜前期Aの入学者として集計しています。

入試についての

Q&A

Q₁

Question 1

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の評価は、どの選抜区分で実施され、どのように評価されますか？

A₁

Answer 1

総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜、一般選抜(後期A)全学部2科目選択型において実施されます。
評価方法は、調査書に記載されている学習成績の状況、志望学科で重視する科目(臨床検査学科：理科、放射線技術学科：数学・理科、看護学科：国語、薬学科：化学基礎を含む化学)の評価、出席状況、学習における特徴、行動における特徴、特技、課外活動、ボランティア活動、取得資格、検定、総合的学習の内容等を総合的に評価し、点数化します。

Q₂

Question 2

英語の外部検定を活用しますか？

A₂

Answer 2

本学では、英語の外部検定を活用しません。

Q₃

Question 3

年内に実施される選抜区分で、他大学との併願が可能な区分はありますか？

A₃

Answer 3

学校推薦型選抜(公募制)【小論文試験型】(併願制)と総合型選抜Ⅱ期(併願制)が併願可能な区分に該当します。

Q₄

Question 4

複数学科の同時受験は可能ですか？

A₄

Answer 4

1つの入学者選抜区分において、複数の学科を受験することはできません。
ただし、一般選抜(前期B)全学部統一方式では、第1志望の学科と第2志望の学科を登録することができます。第1志望の学科に合格しなかった場合、第2志望の学科において、再度合否判定を行います。第1志望の学科で合格した場合、第2志望の学科では合否判定を行いません。

Q₅

Question 5

総合型選抜や学校推薦型選抜合格者は、奨学給付を受けられる選抜区分に出願できますか？

A₅

Answer 5

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)と看護学部は、一般選抜(前期A)全学部2科目選択型に、薬学部は一般選抜(前期A)薬学部化学必須型に出願することができます。ただし、合格した学科と同一学科に、改めて出願していただく必要があります。

Q₆

Question 6

本学試験場での受験と地方試験場での受験に違いはありますか？

A₆

Answer 6

同日に同一問題が出題され、試験場ごとに合格者を決定するわけではないので、どの試験場で受験しても違いはありません。受験生への便宜のため各地に試験場を設けますので、便の良い試験場をご利用ください。

Q₇

Question 7

一般選抜の出題傾向を教えてください。

A₇

Answer 7

教科書レベルの基礎的な問題が中心です。教科書の復習や、出題範囲の練習問題をしっかりやっておけば十分対応できます。オープンキャンパスや相談会で過去問題集を配付していますので、入手して確認してください。
また、本学のLINE公式アカウントから請求することもできます。

Q₈

Question 8

出願方法で注意することはありますか？

A₈

Answer 8

本学は全ての選抜区分でWEB出願を導入しています。インターネット環境やプリンターが必要になりますので事前にご用意ください。インターネット環境がない場合には、所属高校や公共施設のインターネット等をご利用ください。
※学校推薦型選抜(指定校制)は所定の用紙による出願です。

Q₉

Question 9

自分が所属している高校が学校推薦型選抜(指定校制)の指定校になっているか教えてください。

A₉

Answer 9

対象指定校は、公表しておりません。所属高校の進路指導の先生や担任の先生などにお問い合わせください。

Q₁₀

Question 10

入試成績の開示はありますか？

A₁₀

Answer 10

一般選抜(前期A)の成績を開示しています。2023年度入試の成績開示申請は、2023年4月以降です。詳しくは本学ホームページでご確認ください。

Q₁₁

Question 11

合格発表はどのように行われますか？

A₁₁

Answer 11

合格者には、合格通知等の入学書類を簡易書留速達で送付します。学内掲示、本学ホームページへの掲載は行いません。ただし、各試験の合格発表日10時から翌々日の16時まで合否案内サービスで確認することができます。

学費等納入金

保健科学部(臨床検査学科・放射線技術学科)・看護学部

納入期限までに一括して納入してください。

年 次	項 目	前期分	後期分	年 額
1 年 次	入学金	250,000	—	250,000
	授業料	350,000	350,000	700,000
	教育充実費※1	375,000	375,000	750,000
	小 計(入学金を除く)	725,000	725,000	1,450,000
	教育後援会費※2	58,000	—	58,000
	学生自治会費※2	20,000	—	20,000
	小 計	78,000	—	78,000
	初年度合計	1,053,000	725,000	1,778,000
2 年 次	合 計	725,000	725,000	1,450,000
3 年 次	合 計	725,000	725,000	1,450,000
4 年 次	合 計	725,000	725,000	1,450,000

初年度前期分の納入期限については、各試験の説明ページをご覧ください。なお、初年度後期分の納入期限は各試験共通で2023年10月末です。
※1は、実験実習費を含む。
※2は、委託徴収金(4年分)です。
〈委託徴収金内訳〉 ●教育後援会費 入会金10,000円・年会費12,000円×4年分 ●学生自治会費 年会費5,000円×4年分
※学生募集要項に明記されていない寄付金・学債はありません。

薬 学 部

納入期限までに一括して納入してください。

年 次	項 目	前期分	後期分	年 額
1 年 次	入学金	200,000		200,000
	授業料	500,000	500,000	1,000,000
	教育充実費※1	475,000	475,000	950,000
	小 計(入学金を除く)	975,000	975,000	1,950,000
	教育後援会費※2	82,000	—	82,000
	学生自治会費※2	30,000	—	30,000
	小 計	112,000	—	112,000
	初年度合計	1,287,000	975,000	2,262,000
2 年 次	合 計	975,000	975,000	1,950,000
3 年 次	合 計	975,000	975,000	1,950,000
4 年 次	合 計	975,000	975,000	1,950,000
5 年 次	合 計	975,000	975,000	1,950,000
6 年 次	合 計	975,000	975,000	1,950,000

前期分の納入期限については、各試験の説明ページをご覧ください。なお、後期分の納入期限は各試験共通で2023年10月末です。
※1は、実験実習費が含まれていますので、別途徴収することはありません。
※2は、委託徴収金6年分です。
〈委託徴収金内訳〉 ●教育後援会費 入会金10,000円・年会費12,000円×6年分 ●学生自治会費 年会費5,000円×6年分
※入学後、上記以外に実習着・シューズ・教科書、薬学共用試験及び国家試験の模擬試験等の試験対策などの費用がかかります。

奨学金制度

岐阜医療科学大学 奨学生制度

成績が特に優れていると認められる者へ、奨学金を給付する奨学生制度を設けています。
詳細は保健科学部・看護学部14ページ、薬学部15ページを参照してください。

在学生向けの特待生制度

学習意欲が高く、勤勉かつ成績優秀な学生に対して、奨励金を給付する特待生制度を設けています(各学科若干名)。
保健科学部・看護学部：4年次に給付 薬学部：4年次と6年次に給付

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金(貸与)

- 人物・学力が優れ健康であるが、経済的理由のため就学が困難な学生が対象です。
- 本学では機構からの公募に基づき、学内募集・選考を行い、適格者を機構へ推薦します。
- 本学では希望者を対象に入学後説明会を開催します。

私立大学の場合
●第1種(無利子)貸与額／月
〈自宅通学〉2万、3万、4万、5.4万円から選択
〈自宅外通学〉2万、3万、4万、5万、6.4万円から選択
●第2種(有利子)貸与額／月
2万～12万円の中から1万円単位で選択

日本学生支援機構奨学金(給付・減免)

- 学業成績や人物が優れた学生であり、経済的援助を理由に進学を断念する可能性のある学生に対して、学資が給付されたり、学費が減免されたりします。
- 所得金額に基づき、区分(第Ⅰ～Ⅲ区分)が決定し、区分に応じた給付と減免を受けることができます。(詳細は日本学生支援機構のホームページにて確認できます。) 日本学生支援機構：<https://www.jasso.go.jp/>
- 対象者の入学金・授業料について、本学は入学後に返金致します。

各都道府県その他各種団体の奨学金

各都道府県による自都道府県出身者に対する奨学金制度、育英会による育英事業、その他の団体、病院による奨学金制度があります。

資格、奨学金などの詳細は、入学後、本学学生支援課にご相談ください。

主な
利用例

- 岐阜県教育委員会
月額3.2万円(大学)
(日本学生支援機構と併用の場合は
半額1.6万円)
- 石川県教育委員会
月額4.4万円(私立大学)
- 富山県教育委員会
〈自宅通学〉月額4.5万円
〈自宅外通学〉月額5.1万円
- あしなが育英会
月額8万円(特別)
月額7万円(一般・大学)

日本政策金融公庫(国の教育ローン)

受験費用・入学金・学納金・教科書代・下宿代等、入学時及び在学中に必要な資金を幅広く利用できます。融資限度は350万円です。年利は毎年変動するため、ホームページでご確認ください。入学前に借入することも可能です。
お問い合わせ先は、最寄りの日本政策金融公庫窓口及びお近くの金融機関窓口でご相談ください。

看護学科対象病院奨学制度

就学のための資金を病院から看護学科生に貸与する制度で、病院と看護学科生の間に結ばれる契約です。金額・条件などは病院によって異なります。条件の中には、卒業後(看護師資格取得後)その病院に一定期間勤務することで返済免除になるケースもあります。
詳細は直接病院へお問い合わせください。

本学提携の学費ローン

簡単なお申込みで手続きができる本学提携先の学費ローンもご利用できます。
詳しくは本学ホームページの「キャンパスライフ」→「特待生・奨学金・教育ローン」のページをご覧ください。
または、下記フリーダイヤルにお尋ねください。

株式会社オリエントコーポレーション
学費サポートデスク
☎0120-517-325 〈受付時間〉9:30～17:30

株式会社セディナ
カスタマーセンター
☎0120-686-909 〈受付時間〉9:30～17:00

